





	急性毒性(吸入：ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1B
	生殖毒性	区分 1B
	生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(心臓、呼吸器系)
		区分 2(男性生殖器)
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない
GHS ラベル要素 絵表示	 	
	注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害	
	吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ	
	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	
	遺伝性疾患のおそれの疑い	
	発がんのおそれ	
	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
	長期にわたる、又は反復ばく露による心臓、呼吸器系の障害	
	長期にわたる、または反復ばく露による男性生殖器の障害のおそれ	

水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。口をすすぐこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水/石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名 硫酸コバルト一水和物









## 許容濃度

日本産衛学会(2023 年度版) 0.05 mg/m<sup>3</sup>(コバルト及びコバルト化合物として)

ACGIH(2024 年版) TLV-TWA : 0.02 mg/m<sup>3</sup>(コバルトとして, Inhalable particulate matter)  
(コバルト及び無機コバルト化合物)(DSEN; RSEN)

## 設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。  
作業場は、可能であれば物理的に分離する必要がある。  
作業場は換気をする事。  
床に排水溝を設置しない。  
作業場での洗濯設備を設置する。  
取り扱い場所の近くに洗浄のための設備を設ける。  
以上、GESTIS 参照。

## 保護具

### 呼吸用保護具

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。  
緊急時には、呼吸保護具を着用する。  
フィルター装置の使用限界を超える濃度、体積 18%未満の酸素濃度、または不明な状況では、絶縁装置を使用すること。  
以上、GESTIS 参照。

### 手の保護具

必要に応じて適切な不浸透性の保護手袋を使用すること。  
着用する前に締め具合を確認すること。手袋は取り外す前に十分に洗浄し、換気の良い場所に保管すること。  
布製または革製の手袋は不適切である。  
以下の情報は、塩の飽和水溶液に有効である。  
次の材料は保護手袋に適している(透過時間 $\geq$ 8 時間):天然ゴム/天然ラテックス-NR(0,5 mm)(非粉末およびアレルギーフリー製品を使用)、ポリクロロプレン-CR(0,5 mm)、ニトリルゴム/ニトリルラテックス-NBR(0,35 mm)、ブチルゴム-ブチル(0,5 mm)、フッ素炭素ゴム-FKM(0,4 mm)、ポリ塩化ビニル-PVC(0,5 mm)  
記載されている時間は、22° C での測定と一定の接触によって示されている。温められた物質や体温などによる温度の上昇や、膨張による有効層厚の弱化により、透過時間が大幅に短縮される可能性がある。層の厚さが 1.5 倍に増減す





係数	
蒸気圧	0 Pa (20℃) (ECHA CHEM (2024))
密度及び又は相対密度	

mg/kg(ATSDR(2004))に基づき区分 4 とした。

[なお、健康有害

(1)本物質について、in vitro では細菌復帰突然変異試験では陽性、陰性双方のデータがあるが、in vivo のデータはない(AICIS IMAP (2014))。

皮がん)の発生増加が認められた(NTP TR471 (1998)、IARC 131 (2023)、ATSDR (2023)、AICIS IMAP (2014)、MOE 初期

生殖器官への有害影響や授精能の低下、並びに母動物毒性のない用量で催奇形性を示すことが報告されているため、本項は区分 1B とした。

ベルまで回復した(厚労省初期リスク評価書(2009))。

【参考データ等】

生態蓄積性	化審法濃縮度試験：低濃縮性(化学物質安全性点検結果等(分解性・蓄積性))



航空規制情報

陸上規制情報

特別な安全上の対策

該当しない

その他(一般的)注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

## 15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法

特定化学物質第2類物質(施行令別表第3第2号・特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2号)【13の2 コバルト又はその無機化合物】

特定化学物質第2類物質、管理第2類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2、5号)【13の2 コバルト又はその無機化合物】

特定化学物質特別管理物質(特定化学物質障害予防規則第38条の4)【コバルト又はその無機化合物】

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条、施行令別表第9)(令和7年3月31日まで)  
【172 コバルト及びその化合物】

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条、施行令別表第9)(令和7年4月1日以降)  
【12 コバルト及びその化合物】

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2、施行令別表第9)(令和7年3月31日まで)  
【172 コバルト及びその化合物】

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2、施行令別表第9)(令和7年4月1日以降)  
【12 コバルト及びその化合物】

危険性又は有害性等を調査すべき物(法第57条の3)

作業環境評価基準(法第65条の2第2項)【12の2 コバルト及びその無機化合物】

特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、

	施行令第 22 条第 1 項) 【3 コバルト又はその無機化合物】 特殊健康診断対象物質・過去取扱労働者(法第 66 条第 2 項、 施行令第 22 条第 2 項) 【13 の 2 コバルト及びその無機化 合物】
労働基準法	疾病化学物質(法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1) 【コバルト及びその化合物】
化学物質排出把握管 理促進法(PRTR 法)	第一種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1) 【156 コバルト及びその化合物】
毒物及び劇物取締法	-
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審 議会第 9 次答申) 【60 コバルト及びその化合物】
飼料安全法	飼料添加物(硫酸コバルト(乾燥))

## 16. その他の情報

この安全データシートは、飼料品質改善協議会プレミックス研究会が作成した SDS を元に、作成後に改正があった内容を厚生労働省職場のあんぜんサイトのモデル SDS 情報、NITE-CHRIP、GHS 改訂を参考に修正を加えたものです。

すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の手扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

### <引用文献>

- 厚生労働省 職場のあんぜんサイト：モデル SDS「硫酸コバルト（Ⅱ）」2025 年 3 月 14 日改訂版、モデル SDS「硫酸コバルト（Ⅱ）七水和物」2025 年 3 月 14 日改訂版

### <改訂履歴>

版	日付	内容
初版	2001 年 5 月 18 日	—
第 2 版	2014 年 11 月 20 日	GHS 対応

第 3 版	2016 年 2 月 19 日	文言修正など
第 4 版	2021 年 10 月 7 日	ニッチク改訂
第 5 版	2024 年 1 月 1 日	用途及び使用上の注意を追加
第 6 版	2025 年 4 月 1 日	令和 7 年 4 月 労安法対応
第 7 版	2026 年 2 月 2 日	GHS 分類更新に伴う改訂